



学校だより

令和 8 年 9 月 25 日

学 校 教 育 目 標

10

月

号

ともに学び、創り出し、行動する子 = 輝く自分、輝く鶴小 =

横浜市立 鶴ヶ峯小学校

(<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsurugamine/>)

行事 その過程に

校長 渡辺 正規



雨の日が多く、全国各地で土砂災害や河川の氾濫など、甚大な被害が出ているニュースに心が痛む毎日です。被害にあわれた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、先日、2年生の校外学習がありました。その出発式でのことです。数名の児童が前に出てくるや、「はじめの言葉」「スローガン発表」「引率教諭の紹介」とてきばきと進行していく様子が印象に残りました。その代表児童は「校

外学習実行委員」の子どもたちです。事前に担当教師と一緒に、「どんな校外学習にしたいか」について話し合うことから始め、役割分担を行い、練習をしてきたとのことでした。最初こそ教師がついていましたが、あとは子どもたち同士で自主的に集まり、練習を重ねてきたということでした。当日は、友達が頑張っている様子を見て刺激されているからでしょう、2年生全体が、大きな声でスローガンを言ったり、よく話を聞いたりしていました。この様子から、いい校外学習になることは確信できました。

担当に聞くと、1年生のときも「実行委員」はありましたが、経験を積んできたことによって、子どもたち同士で行える比重が大きくなってきたとのことでした。

正門わきではキンモクセイが香ります。この実りの秋には行事が続きます。そこでもそれぞれ「実行委員」が活躍します。今、一番聞こえてくるのは「飛翔実行委員」「ソーラン実行委員」・・・そう、迫ってきた運動会に向けてです。スローガンに向けて、踊りをどんな構成にしようか、どうやってリードしていこうかと各学年、子どもたちが考えながら創り上げています。

実行委員に限らず、様々な「代表」もあります。そのための練習を家庭で行う子もいるでしょう。頑張ろうとする前向きな気持ち、緊張したり、ドキドキしたりする気持ち、当日に向けての思いもそれぞれでしょう。中には、希望したけれどもかなわなかったという子もいます。もちろん学校でもフォローしますが、ご家庭との連携も大切です。行事を通して成長していく子どもたちの様子と一緒に見守っていきましょう。